

## ポリテクカレッジの 存続に向けて

職業能力開発大学校及び同短期大学校いわゆる「ポリテクカレッジ」は、独立行政法人「雇用・能力開発機構」が設置運営していますが、政府は、この法人の存廃検討を閣議決定し、ポリテクカレッジを段階的に県または民間に移管する方針を打ち出しています。

仮にこれらが、国に比べて財政力の弱い地方自治体に分割・移管されると、存続が困難になる恐れがあります。

こうしたことから、所在19市町による「全国ポリテクカレッジ所在自治体協議会」を結成して活動計画を決定し、現行体制の堅持を共同宣言するとともに、要望活動を行いました。

今後も本協議会を中心に、現行体制によるポリテクカレッジの存続に向け取り組みます。

## 住宅マスタープランの見直し

市では、平成15年に策定した「住宅マスタープラン」の見直し作業に取り組んでいます。見直しに当たり、建築の専門家などで組織する策定委員会を設置し、年度内に3回開催した後、基本方針をまとめることとしています。

また、市民や市営住宅入居者2000人を対象に、住環境に対する要望や、本市が推進している「まちなか居住」に対する意見などを把握するためのアンケート調査を実施しました。現在、結果を集計中で、今後、この結果を基に住宅政策の

総合的、長期的な基本方針を住宅マスタープランに盛り込み、より効果的かつ確実な事業の展開を目指します。

## 総合病院駐車場工事の進捗状況

駐車場の整備は、東側駐車場の一部を除き、12月19日までに完了、22日から完成した駐車場を開放し、国道7号側出入口を正面玄関としてオープンさせて、バスの乗り入れも早期に実施できるよう関係機関と協議しているところです。

その後、12月24日から市立総合病院玄関口へのバスの乗り入れが始まりました。

なお、放射線がん治療機器を設置する「ライナック棟」の建設工事のために大型重機が出入りすることから、東側駐車場



の一部は、舗装工事の工期を3月下旬まで延長する予定です。

3月末の全面完成後には、カーゲートを設置して機械管理とし、有料駐車場にする計画ですが、外来患者などは無料にしたいと考えています。駐車料金など、細部は現在検討中です。

## 公共事業の進捗状況

主な事業の進捗状況は、道路関連では有浦東台線は仕上げの段階で、年度内の完工となります。葛原橋上部工補修、岩瀬山田線歩道設置も年度内に完成予定で、比内内線道路改良事業は、本年度事業の進捗率が95%、扇田地区まちづくり事業は、都市計画道路の築造や多目的広場の整備などを実施し、進捗率は75%となっています。

次に、施設整備では、本庁舎暖房用ボイラー棟の改修は、2階部分の撤去工事と既存煙突の取り壊しが完了し、現在、屋根の掛け替えと財政課側外壁補修工事を行っています。これらと並行し、ボイラー本体は、納入業者側で安全性の向上とペレット燃料タイプへの改造作業を実施しています。

また、比内ベニヤマ荘への木質ボイラー導入事業は、9月末に完工し、家屋解体材を燃料として使用することから、二酸化炭素の排出が削減されるとともに、石油価格にも左右されず、安定的に稼働しています。

学校耐震対策事業は、緊急性の高かった田代中学校普通教室棟の部分補強は9月上旬に完了して、比内中学校管理

棟ほか耐震補強工事は7月中旬に発注し、現在の進捗率は95%です。

また、桂城小学校、城南小学校の耐震二次診断業務は、6月上旬に委託発注し、進捗率は70%で、12月中旬に完了する予定です。

続いて農業関連では、小泉交流センター（仮称）の建設工事は、11月に着工し、3月中旬に完了する予定です。

農業集落排水事業では、十二所北、独鈷中野の両地区で処理施設の建設工事などを施行中で、本年度事業の進捗率は45%となっています。

次に、下水道事業では、大館地域の東台、清水町ほか、比内地域の味噌内、田代地域の赤川で本管理設工事を施行中で、進捗率は平均で40%です。

水道事業では、老朽管を更新する管路近代化事業を柄沢地内で施行中で、進捗率は80%です。また、横岩地区水道未普及地域解消事業と真中簡易水道災害復旧事業は、いずれも40%の進捗率です。

なお、農業関連事業、下水道事業、水道事業の進捗率が40%程度の工事なども本年度中に完了する予定です。

公共事業全体の発注率は、11月末現在約90%で、昨年度同期に比べ7ポイント上回り、本年度の公共事業投資額は、約79億円を見込んでいます。

## そのほかの報告

- ・ バイオマスタウン構想
- ・ 比内公民館などの業務開始
- ・ 敬老事業
- ・ 秋まつり行事など